



# 「活きていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 市議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

## 「**挙**げ句の果て・秋葉山(あきはさん)から火事

【**挙げ句の果て**】◇事の終わりのこと。

・連歌や俳諧の最後の七・七を「挙げ句」というところから。

【**秋葉山から火事**】◇ほかを戒めている者が、自分から過ちを犯すこと。

・静岡県の秋葉山に、火難よけの神を祭る神社があることを踏まえている。

第2回定例会が5月26日から始まります。この定例会では、例年、1年交替が慣例となっている「議長選」があるのですが、去年は前議長を無理やり引き吊り降ろしたと言われている人が、議長職について今、その席が座り心地よさそうで、どうも選挙はなさそうです。



今号は「議員定数」について書きます。

議員定数は「船橋市議会議員定数条例」により、50人と定められています。

この50人が多いのか少ないのか判断するのは、不幸にも市民ではなく議員に委ねられているのです。ということは、増員するよりも減員するのが難しいことであると容易に想像できるでしょう。

昨年まで2年間「議員のあり方検討委員会」で、議員の報酬や定数等について議論をしてきました。以下に近隣市の議員定数の表(平成23年現在)と、同委員会でもまとめられた各会派の意見の一部を書きました。

市名	人口	条例定数	現員数	直近の改正年月日	改正内容
千葉市	963,495人	54人	54人	H18・9・29	56人→54人
船橋市	610,282人	50人	50人	H11・5・1	52人→50人
松戸市	491,274人	44人	44人	H22・8・27	46人→44人
市川市	474,366人	42人	42人	H14・11・15	44人→42人
柏市	405,851人	36人	34人	※今期に限り40人(合併特例)	
八千代市	193,280人	32人	32人	H11・1・15	36人→32人
浦安市	164,695人	21人	21人	S49・12・20	20人→21人
習志野市	162,490人	30人	30人	H11・5・1	32人→30人
鎌ヶ谷市	108,072人	24人	24人	H20・6・5	27人→24人

今回明らかにされた各会派の意見は多種多様であり、その隔たりは大きく、調査を付託された当委員会として、一致した「当市議会のふさわしい定数」を導き出すことはできなかった。



あえて現時点での各会派の意見を具体的な判断に置きかえていくとすれば、現状の50人を適正とする意見（自由市政会、市民社会ネット《計18名》）、直ちに増員することを求めるものではないとしながらも現状より多い56人を適正とする意見（日本共産党《計7名》）、一定の幅（5人の削減可能性）を持たせながらも、現状の50人をも肯定する意見（公明党《計10名》）など、現状を肯定する会派、また、少なくとも現状を否定しない会派が過半数を占めていると解釈することができる。

一方、現状より10人削減し40人を適正とする意見（凛、みんなの党《計11名》）、さらに少ない35～40人を適正とする意見（民主党《計3名》）があり、削減を求める会派が一定数あることが明らかであるが、多数を形成するには至っていない。

このことから、現時点で当市議会において、多数決の原理によって導き出される議員定数は、現状の50人を維持するというで、多数の合意が形成されていると言える。



と、同委員会では結論付けています。

会派凛の私は同委員会の委員として、「行政のチェック機関である議会を構成する議員は、市民の範となる資質を持ち、言動に配慮しつつ行動しなければならない。現状は議員として不適格な方が見受けられるという市民の声もある。市政に無関心の人が増加が、昨今の市議会議員選挙の投票率の低さにつながっている。より身近で、その人柄や能力を見極めるためにも、また、市税が伸び悩む中で、市の事業に少しでも予算を振り替えるためにも定数を削減すべきである。議員一人にかかる年間経費は約1200万円、10人削減すれば、年間1億2000千万円捻出できる。4年間で約5億円にもなる。例えば、不足している子育て支援費などに充てられる」などと主張して、議員定数を10人削減して40人にすべきとしました。しかしながら、2年間議論してきた『挙げ句の果て』何も変わりません。

来年の4月に地方統一選挙があり、船橋市議会議員選挙もあります。その前になると「選挙目当て」の定数削減を訴える現職も含めた立候補予定者が増えてくると思います。

このほど千葉県議会では、市議会改革推進協議会で、議員定数削減を求める多数会派が、現行の54人から50人に削減する統一した案を示しました。

船橋市とは全く逆の方向が示されたのです。人口が約100万人の千葉市と、61万人の船橋市が同じ50人。例えば本市が40人となると、本市より人口の少ない松戸市や市川市の議員数が多くなりますが、他市の議員数削減の流れができてくる契機になると思います。



議会にいると分かることなのですが、自分のためにだけ議員になっている人も見受けられます。『秋葉山から火事』とにならないように日々努力してまいります。